

採材時の注意点

下記の点についてご注意をお願いします。採材にあたっては、下表を参照ください。

- 採材してすぐの新鮮な材料を、冷蔵で送付
- 集団発生の場合は複数頭の材料を採材
- 検査依頼内容、個体情報、カルテの写しなど経過がわかる情報を添付

検査に関するご質問等はいつでも承ります。

病態の原因究明や感染症の早期発見にむけて、お役に立てれば幸いです。

お気軽にご相談
ください。



①目的別

目的	材料	検査	採材量・採材方法・留意点
呼吸器病原因検索	鼻腔スワブ	ウイルス検査（遺伝子検査、分離） 細菌検査（培養検査） マイコプラズマ検査（培養検査）	○綿棒は1頭につき3本以上（ウイルス、細菌、マイコプラズマ用）採取し、滅菌生食にひたす  ○鼻鏡・鼻腔をアルコール綿花で拭いて、なるべく鼻の奥から採材する ○採材時期は治療前の発症初期が望ましい ○抗体検査用の後血清は約3週間後に採材
	血清	ウイルス抗体検査（ペア血清推奨）	
	糞便	牛肺虫検査	
下痢原因検索	糞便	ウイルス検査 細菌検査（サルモネラ検査、その他培養検査） 内部寄生虫検査	○糞便はピンポン球大（一握り）以上の量 ○採材時期は治療前の発症初期が望ましい ○抗体検査用の後血清は約3週間後に採材
	血清	ウイルス抗体検査（ペア血清推奨）	
流産原因検索	胎子 胎盤 母畜血清	ウイルス検査 細菌検査 病理検査 抗体検査等	○胎子は必ず採材（集団発生は複数頭） ○胎盤の搬入もお願いします

② 主な疾病別

疾病	材料	検査方法	採材方法・留意点
牛伝染性リンパ腫	血清	抗体検査 (ELISA)	○6か月齢未満の牛は移行抗体の影響を受けるので、抗体検査ではなく遺伝子検査が望ましい
	全血 (EDTA 血)	遺伝子検査 (PCR)	
		白血球数、白血球百分比、異型リンパ球の確認	○当日搬入が困難な場合は、血液塗抹標本を搬入
牛ウイルス性下痢	血清	遺伝子検査 抗体検査 (ペア血清推奨、6か月齢未満は×)	○6か月齢未満の牛は移行抗体の影響を受けるので、血清とあわせて全血も採材
	全血 (EDTA 血)	遺伝子検査	
ヨーネ病	血清	抗体検査 (スクリーニング検査)	○採材時の月齢が6か月齢以上であることを必ず確認
	糞便	遺伝子検査 (リアルタイムPCR)	○糞便は親指大以上 (多めに)

※その他、馬パラチフス、豚オーエスキー病など